

☆ ボランティアさんの一言 ☆

最近、明け方の東の空に、とても明るい星があるのに気づいた人もいますか
と思います。あれは金星で、明けの明星ともいわれています。大きさは地球と同じくらいの惑星ですが、表面は92気圧、460℃の、すさまじい環境です。この時期、早起きをして、ぜひ金星をごらんになってください。

(とくさんより)

くらぶちこども天文台

2022★3月の星空

はる かぜ ふ きび
だんだんと春の風が吹くようになりました。厳しい
ふゆ さむ なん お っ き
冬の寒さも、何となく落ち着いてきたような気がしま
よぞら しゅやく ふゆ ほし はる ほし
す。そして、夜空もまた主役が冬の星から春の星へと
うつ はる ふゆ あか
移ってきました。春は冬ほど明るくはありませんが、
ぼうえんきょう む たの てんたい
望遠鏡を向けると楽しめる天体がたくさんあります
じょじょ あたた まちあ
よ！さあ、これから徐々に暖かくなります。街明かり
すく くらぶち ほしぞら した で か
の少ない倉淵の星空の下へ出掛けよう！

開館時間：15：00～21：30

☆ 3月の見頃の時間は19：00ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台

新Webになりました！



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※



今月の星座

北

西



東

南

Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/> より

誕生星座は、【ふたご座】【かに座】【しし座】が見頃になります。

『冬のダイヤモンド』や『冬の大きな三角』は西に傾き、冬の終わりを感じさせます。北天の【カシオペア座】と『北斗七星』は『北斗七星』の方が高く昇るようになり、北極星を示す星座がバトンタッチしました。もう少しすると春の代表的な星座もそろってきます。暖かな夜まであとちょっと！

星空トピックス『光害と思いやり』

満天の星をみるために欠かせないのが“暗さ”。これは比較的明るい星や月などだけを見る分にはあまり気になりませんが、星団や星雲、天の川など、淡い星まで見ようとすればするほど重要になる要素です。

◇ 光害とは？

太陽が沈んだ後に欠かせない照明ですが、その設置が多すぎたり、場所の配慮が足らずに周辺への悪影響をもたらしてしまうことを光害といいます。（同じ発音で別の意味を持つ言葉に公害というものもあるため、『ひかりがい』と呼ぶ場合もあります）これは天体観測においてとても重要で、わずかな光ですら満天の星は霞んでしまうのです。

● 便利な明かりも思いやりが大切

星を見るときに光害は、実は思いもよらない場所にも。暗い場所です足を照らすランタンや懐中電灯、スマートフォンの光、お子さまの光る靴、車のライト。あげたらキリがありませんが、天体観測時は減光をするため、特に光が目立ちます。ただし、安全のためなどを考えるとそれをすべて消してしまうことはなかなか難しいのです。当館でも明かりをなるべく目立たない赤いものにしたり、星空案内に使わせていただいているレーザーはもちろん必要最低限で開館時以外では絶対に使いません。星空の下で一番大切なのは“思いやり”。星が輝ける暗闇を守るのと夜間の利便性は必ずしも両立はできません。

皆さんもぜひ、星空と光害について私たちと一緒に考えてみませんか？